
trash

蒼山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

t r a s h

【Nコード】

N 5 5 5 5 E

【作者名】

蒼山

【あらすじ】

みんなは加害者のために泣いている。被害者のためになんか泣いちゃいない。

みんなが泣いていた。

学校中が喪に服していた。

家族もみんな泣いていた。

まあ、当たり前と言ってしまえばそれまでだが。

で、面白いのが学校の連中だ。

みんな花束供えて一丁前に涙ながしてやがるけど、俺は知っている。

被害者のために泣いている奴なんて一人もいないってことをね。

奴らは加害者のために泣いているのさ。

あの××××××な糞の手に引金を引かせた奴らのために、泣いているのさ。

そのことを俺は知っているんだぞ！

自分たちが芝居を演じていることにも気付いているだろ！

気付かないフリをするな！

俺は知っているんだ！

俺がこうなる前から気付いていたんだ！

奴がああなっちまうずっと前から気付いてたんだ！

……そうさ。

気付いていた。

でもそれだけだった。

だからなのか？

なあ。

インクと紙を腐るほど買い込み、彼らは明日にでもお前の悪を決め付けるだろう。

俺が、気付く以上のことをしたら、防げたのか。

俺は自信が無かったけど、お前は俺にその力があると信じたのか。

信じて、そして待ったのか。

待ち続けたのか。

ならば、この結末は、痺れを切らした結果なのか？

なあ。

もしそうだとするならば、俺も、俺も奴らと同じなのか？

だから別れの挨拶の代わりに、鉛の塊を俺は食らったのか。

なあ。

どうなんだ？

まあ俺はいいとして。

お前が俺と同じ様になる必要はあったのか？

なあ。

でも同じ様になったのに、お前はどこにもいない。

俺には俺と奴らの姿しか見えない。

お前は本当に俺と同じ様になったのか？

俺にはお前の姿がどうも見えないらしい。

なあ。

お前に訊きたいんだよ。

もう口はないけれど、俺と同じ様になっているなら関係の無いこと

だろ。

だから訊きたいんだ。

なのに、見えない。

俺にはお前の姿がどうも見えないらしい。

（後書き）

ええと、かなり久しぶりです。

蒼山です。

まあアレですよ。もう文章が崩壊しています。

意味が全く分かりません。

書く側も途中から意味分かってないままキー打ってましたから。
なんでこうなったんでしょうねえ。

KoRnなんか聴きながらやってたからでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5555e/>

trash

2010年12月3日14時54分発行